

# INFORMATION

No.2022.33  
2022年12月



## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。  
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。  
謹白

### 記

■ 受託開始日 2023年1月4日(水) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
3121	ガストリン 4G040-0000-0 23-002	 血清 0.7	① 真空 採血管 ↓  ポリスピッツ	凍結 (21日)	6~12	研究用試 薬のため 未収載	RIA PEG法	60以下 (参考値) (pmol/L)	空腹時に採血してく ださい。 採血後、冷蔵にて血 液の凝固を確認し、 速やかに低温 (4℃)にて遠心分 離してください。 血清は必ず4時間以 内に凍結保存してく ださい。 ※1



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

## ● ガストリン

ガストリン産生腫瘍の診断補助に有用な検査です。

ガストリンは、胃幽門粘膜および十二指腸粘膜に存在するG細胞で産生される分子量 2,096 の直鎖ペプチドで、17 個のアミノ酸から構成される消化管ホルモンです。主に腎臓で代謝され尿中にはほとんど排泄されませんが、生理活性のないN端部分ペプチドは、腎臓で代謝されず尿中に排泄されます。

血中ガストリン濃度は、胃酸分泌機能の背景因子を調べる検査の一つであり、胃酸分泌機能の測定と併せて行われます。特に、Zollinger-Ellison 症候群（ガストリノーマ）を代表とするガストリン産生腫瘍をはじめとする種々の疾患で高値を示し、消化器異常の鑑別や病態の把握にも用いられます。

### ▼疾患との関連

ガストリノーマ  
Zollinger-Ellison 症候群

### ▼検査要項

検査項目名	ガストリン
項目コード	3121
検体量	 血清 0.7 mL
容器	①真空採血管→ ⑧8 ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	6~12 日
検査方法	RIA PEG法
基準値	60 以下（参考値）*
報告範囲（単位）	15 未満、15~99900000 (pmol/L)
桁数	有効3桁、整数8桁、小数0桁
検査実施料	研究用試薬のため未収載
判断料	—
備考	空腹時に採血してください。 採血後、冷蔵にて血液の凝固を確認し、速やかに低温（4℃）にて遠心分離してください。血清は必ず4時間以内に凍結保存してください。 ※1

\*参考値につき、報告書への基準値記載はありません

### ●研究検査

通常受託項目とは異なり研究を目的とした検査であるため、基準値ならびに臨床的意義が明確にならない項目もございますので、内容をご理解のうえ、ご依頼いただきますようお願い申し上げます。

### ●参考文献

河本 泉, 他: 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 33 (2): 97~100, 2016. (臨床的意義参考文献)